

### 地震の時、 自動で電気を遮断できる 「感震ブレーカー」 をつけましょう

ご存じですか？

地震による火災の過半数は電気が原因という事実。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の起火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

このような火災対策に有効とされているのが感震ブレーカーです。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

#### 【感震ブレーカーとは】

感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上のゆれを感知したと

きに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーは、工事の必要なものや、工事不要なコンセント型のものなどがあり、各家庭の状況に応じて使い分けることができます。

#### 【感震ブレーカーの種類と特徴】

感震ブレーカーには、以下のようなものがあり、各タイプにより特徴や費用が異なります。電気工事が必要なタイプもありますので、各家庭にあった製品を選びましょう。

##### ①分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用 約5〜8万円

※電気工事が必要

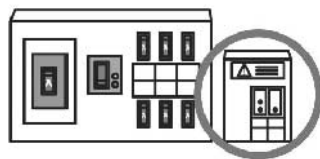


##### ②分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプでセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用 約2万円

※電気工事が必要



##### ③コンセントタイプ

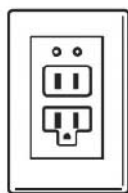
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

費用 約5千円〜2万円

(埋込型)

壁面などに取り付けて使うもの

※電気工事が必要



##### (タップ型)

既存のコンセントに差し込んで使うもの

※電気工事が不要

##### ④簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用 約2〜4千円

※ホームセン

ターや家電

量販店で購

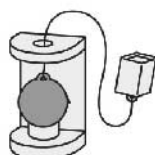
入可能(電気

工事不要)

感震ブレー

カーの設置は、耐震対策と合わせて取り組むとさらに効果的です。避難路の確保等のため、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。

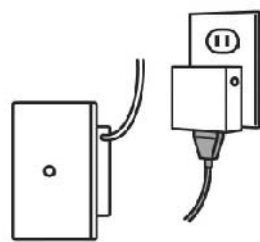
詳しくは、内閣府「防災情報のページ」ホームページ (<http://www.bousai.go.jp/jisin/syuto/denkikasaitai>) (<http://www.saku/index.html>) をご覧ください。



おもり玉式



パネ式



お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第一係

☎55-3113